

県医労新聞

2009年9月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

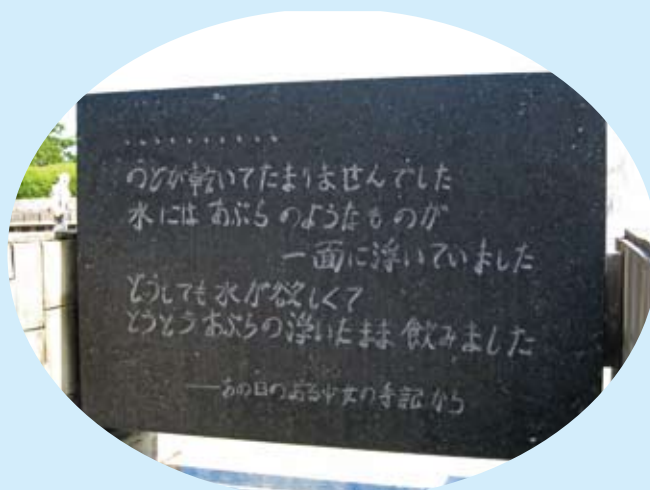
毎月1回発行 1831号(月刊46号)



8月7日～9日 岩手から41名の代表団が参加(長崎市平和公園)

— 目 次 —

- 1～2P 原水爆禁止世界大会in長崎
- 3P 日本医労連定期大会
いのちのふるさとシンポin盛岡
映画「いのちの山河」チケットプレゼント
- 4P 独立行政法人病院になったら?
情勢学習会&中央委員会
- 5～6P 第55回母親大会
- 7P 青年部第52回定期大会
- 8P つぶやき、とんがらし
パズル当選者
- 9P 職場川柳、懸賞パズル
9、10月の予定
フレッシュセミナーのお知らせ



「水を」と言って死んだ人の
冥福を祈る「平和の泉」

核廃絶にむけ、 世界が一步前進

8/7~9 原水爆禁止世界大会in長崎



県医労からの参加者

後列 本部・〇〇さん（左から2人目） 二戸支部 〇〇さん（左から3人目）
前列 釜石支部 〇〇さん（中） 中央支部 〇〇さん（右）

8月7~9日、原水爆禁止2009年世界大会・長崎が開催されました。岩手からは41名、うち県医労からは家族を含め3支部本部6名が参加しました。7800人が参加した9日の閉会総会では、海外・国内の代表がカラフルな横断幕を手に登壇し、来年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけ、草の根から核廃絶のうねりをつくりだそうと決意を表明し、運動の飛躍を誓い合いました。

家族と参加し、 今の平和を実感

中央支部 〇〇〇〇

核兵器廃絶に向けての運動・行動を目の前にして、今まで何もしてこなかった自分を反省しながらも、ものすごいパワーに感動しました。

64年前の8月9日11時2分に長崎に原爆が投下され、14万人以上の方々が犠牲になりました。私は50年前の8月9日に生まれました。今回この大会の事を聞いて是非参加したいと思

い、二女・二男と共に参加する事ができました。

平和公園・

原爆資料館などを見学し、母乳を飲ませる被爆した母親の写真を見て、自分が4



平和記念公園、母子像の前で

人の我が子に当たり前のように母乳を与え、育てられたことがこんなに平和で幸せな事だったんだと痛感し、涙が止まりませんでした。

この地に来て戦争は過去のものではなく現在も続いている事、そして被爆した方々が辛い思いを抱えながら、原水爆禁止を訴える活動をしていることを知り「核兵器のない世界」を子供や孫達に残せるように自分も活動に協力していこうと思いました。

長崎の人の温かさや長崎の夜景の素晴らしさにも感動です。長崎最高でした。

歴史を学び 伝える大切さ

二戸支部 ○○○○

世界大会の中で「平和を勝ちとる」という言葉を何度か耳にし、「平和」というものは勝ちとるものなのかという疑問を持ちました。私自身の中でも、こういう表現が適切なのかうまく整理できませんが、これも世界の状況が生んだ表現なのかもしれないと思いました。



戦没者に心からの祈りを捧げました

また、核兵器だけでなく、今もなお世界で繰り広げられている戦争がもたらす被害も決して忘れてはならないと感じました。

これから先、核兵器を廃絶し、世界が平和になるために私たちができることは何なのかと考えた時、核や戦争による被害が繰り返されないよう、歴史を学び、平和への思いを伝え、様々な活動に参加してみるなど、草の根からの運動を続けていくことが大切だと思いました。

何年、あるいは何十年、いつの日か本当に核兵器のない平和な世界が訪れることを信じたいと思います。

核廃絶にむけ

世界にアピール

釜石支部 ○○○○

私は戦争の経験はありません。戦争を余儀なくされている外国の様子をテレビ

ニュースや新聞などで見る限り感じることは、犠牲者はいつの時代も弱い立場にある人々だということだと思います。戦争から愛は生まれません。戦争には正義も大義名分もありません。戦争から生まれるのは憎しみだけというも感じています。

この大会に参加して、長崎で当時何があったのか、少しは理解できたような気がします。そしてなぜ核廃絶が必要かも理解できました。

アメリカのオバマ大統領は核爆弾を落とした国としての道義的責任がある。核廃絶に向けて行動すると発言しました。日本の被爆者

たちは世界唯一の被爆国として、ヒロシマ、ナガサキを二度と繰り返さないために核廃絶に向けて世界に発信していく責任がある。と声を出し活動しています。

被爆国日本人として私たちは何をすべきか。全て

の生命を育む宇宙船地球号を未来へつなぐためにも。

被爆体験を 次の世代へ

本部書記局 ○○○○

長崎は36度の猛暑で「なんて暑いんだろう」と思っていました。平和公園や原爆資料館を見学して、その考えは変わりました。原爆の被害に遭った多くの方々は、この猛暑の中で熱線と爆風、そして放射能を浴びて亡くなっていったのだと知り、自分がいかに恵まれた環境で生活しているのだらうと考えさせられました。

世界大会開会総会後に行われた「青年のつどい09 in ナガサキ」には2千人近い若者が参加していました。その中には高校生も多く参加しており、自分たちの行っている平和活動やこれからの決意を堂々と述べ

ている姿には脱帽させられる思いでした。

また被爆者の高齢化が進み、被爆体験を聴ける機会が減っている中、被爆地で、被爆者の生の声を聴くことができたことは大変貴重な体験だったと思います。この貴重な体験を活かし、核兵器廃絶、戦争のない世界の実現のために、まずは小さなことでも出来ることから取り組んでいきたいと思いました。



大会フィナーレ、会場一体となり合唱

第59回日本医労連定期大会

命と暮らしを守る 政治への変革を



3日間、熱心に討論しました

増勢で大会を迎えたことを報告し、「新しい政治の実現で、日本の医療・介護・社会保障の再生を。働き続けられる職場を実現しよう」と呼びかけました。

2日目の討論では、61人の発言がありました。

増勢で大会を迎えたことを報告し、「新しい政治の実現で、日本の医療・介護・社会保障の再生を。働き続けられる職場を実現しよう」と呼びかけました。

2日目の討論では、61人の発言がありました。

増勢で大会を迎えたことを報告し、「新しい政治の実現で、日本の医療・介護・社会保障の再生を。働き続けられる職場を実現しよう」と呼びかけました。

2日目の討論では、61人の発言がありました。

日本医労連の定期大会は7月28日～30日までの3日間、静岡県伊東市で、代議員・傍聴者・役員等309名の参加で開催しました。

田中執行委員長は挨拶で、4年ぶりの組合員数の

大阪の代議員からは、村上優子さんの裁判支援へのお礼と、この問題は看護師共通の問題である事、東京医労連の代議員からは、できることから運動をと、超勤請求運動をしたとの報告

チケットプレゼント 映画『いのちの山河』

「命に差別があってはならない」という基本理念のもと、老人医療費無料化を始めた沢内村の故深澤晟雄村長を描いた映画です。10月3日教育会館での試写会を皮切りに県内各地で上映されます。この映画のチケットを先着50名にプレゼントします。希望者は県医労本部にハガキ（パズルのついででもOK）、ファクス、電話で応募して下さい。TEL019-623-8271、FAX019-623-8273。

締め切りは9月30日必着です。チケットは支部宛に送ります。

今こそ、深澤さんの「生命尊重行政」が求められている時。岩手県知事、医療局長にもぜひ見て欲しい作品ですね。



チケットです。

いのちのふるさと シンポ in 盛岡

～地域医療と福祉を考えるつどい～

日時 10月4日(日) 13:30～16:00

場所 国保会館

安心して暮らすために必要な医療・福祉とは何か？をじっくり考えるシンポジウムです。

コーディネーターには、岩手県立大学の佐藤嘉夫社会福祉学部長、パネリストには、県立高田病院の石木幹人院長、多田欣一住田町長、青森県西北病院の金川佳弘氏などをそろえ、開催します。

地域医療再生へのヒントが！

たくさんの組合員の参加をお願いします。

主催

- ・地域医療の充実・県民の命を守る連絡会通信
- ・岩手県地域医療を守る住民組織連絡会

独立行政法人病院 になったら？

県立病院の財政赤字を理由に、経営のあり方を考える懇談会の設置方針が、県議会での達増知事答弁で明らかにになりました。この中では、長野県立病院の独立行政法人化も参考にする、と言われています。

さて、私たちの県立病院が独立行政法人にされると、どうなるのか。

一番の変化は、県条例一つで、県職員⇨公務員という身分を奪われ、民間人になることです。公務員試験に合格しているのに、個人で拒否できないのか、勝手にできるのかと誰しも思うことでしょう。しかし、そうすることができると、という法律が国会で通過し、すでに県内でも県立大学が独立行政法人化(05年4月)され、大学の先生方は一方的に県職員から民間人にされています。

もう一つの問題は、赤字を理由に経営形態の変更をするのですから、給与・手当等の

引き下げが狙われます。国立

病院の独立行政法人化(当面は国家公務員、現在、非公務員型への変更が狙われている)では、看護師を含め、職員の基本給が引き下げられる。来々四月から独法化される神奈川県立病院でも賃金等の引き下げが提案され、交渉が継続されています。

さらに、黒字経営の追及が強まる中で、地域医療からの撤退、縮小、不採算医療の切り捨てが懸念されます。県議会のチェック機能が弱くなり

ます。

こうした問題を、地域のみなさんと一緒に考えていく。独立行政法人化ありき、ではなく、岩手の医療をどう存続、発展させていくかが問われることになりま

総務省による改革プラン作成状況 アンケート結果から

- ④「経営形態の見直し」の内容では、
地方公営企業法の全部適用(実施済み300病院)新たに78病院が予定
地方独立行政法人化(実施済み11病院)新たに34病院が予定
指定管理者制度の導入(実施済み54病院)新たに10病院が予定
民間移譲は新たに12病院が予定
2011年度までに結論取りまとめ予定が553病院(66.1%)

新たに独立行政法人にされる県立病院(予定含む)

09年4月から秋田県(2病院)、静岡県(3病院)
10年4月から神奈川県(6病院)山梨県(2病院)、長野県(5病院)、
岐阜県(3病院)、山口県(2病院)
11年4月から佐賀県(1病院)

情勢学習会と中央委員会

読書の秋、学習の秋です。労働組合も社会の問題、医療の問題を学びながら運動を進めることが求められています。学ぶことは、元気になることでもあります。

さて、恒例となってきました情勢学習会を開催します。講師は、いわてローカルユニオンを全国に知らしめた前委

員長の工藤和雄さん。もう1人を調整中です。また、秋の運動を全組合員の知恵と力と行動でがんばろう、国に追いつく給料大幅引

き下げ勧告を許さない運動を意思統一する秋の中央委員会を翌日に開催します。すべての中央委員、多くのオブザーバーの参加で成功させましょう。

情勢学習会 10月16日(金) 13時30分から
中央委員会 10月17日(土) 9時から
場所 花巻南温泉峡「渡り」

いのち・くらし・平和 守りぬくのは女性たち

第55回 in花巻 岩手県母親大会 6月28日



花巻農業高校の鹿踊り部のみなさんの
「春日流鹿踊り」で開幕

花巻温泉のホテル千秋閣で開催された岩手県母親大会には、県内から1200人（県医労からは16支部・本部47名）が集まりました。午前中は保育、教育、雇用、男女平等など11の分科会・シンポジウムが行われ、医療のシンポジウムでは、○書記長がコーディネーターを、江刺支部の○○○が司会を務めました。シンポでは、地域医療の未来を切り開くために、地域住民と医療従事者が、共に

運動を広げていく必要性などが話されました。午後の全体会のオープニングは、花巻農業高校の「春日流鹿踊り」。高校生のはつらつとした勇壮な踊りは圧巻で、会場から感動の拍手がわき起こりました。花巻地域実行委員会による構成劇は、農業を守る運動など18人が発言し、最後に宮沢賢治の「星めぐりの歌」で締めくくりました。来年の母親大会は二戸で開催されます。



上 花巻地域実行委員会の構成劇
下 医療のシンポジウム

記念講演 明るい未来を切り開くために

一橋大学の渡辺治さんのテンポのよい話しに引き込まれ、あっという間の1時間でした。



渡辺先生は「憲法9条は何度も変えられようとしたが国民的運動でその動きに歯止めをかけてきた。また、憲法25条があるのに、日本は貧困と格差が広がっている。明るい未来を切り開くために、9条の会

をもっと大きくして憲法9条を守り、25条を暮らしに活かすために政治を変えよう」と訴えました。

参加者からは、運動を広めることが大切だと分かった等、たくさんの感想がよせられました。

第55回 in京都 日本母親大会 7月25、26日



9000人の参加者でうめつくされた全体会会場
(7月25日、京都府立体育館)

第55回日本母親大会が全
国から延べ1万7500人
(岩手県から63人、うち県医
労からは8支部14人)の参
加で開催されました。

による金管五重奏。「エーデ
ルワイス」「ドレミの歌」な
どの生演奏に心が癒されま
した。運動の交流では、世
界同時不況による深刻な雇
用・くらし破壊の実態や、
各地域・労組の取り組み、
裁判闘争の実態などが報告
されました。

翌日は、立命館大学衣笠
キャンパスを会場に、子ど
も、くらし、平和、女性の
権利など43の分科会で学び、
交流。どの会場も、元気がい
っぱいで、明日へのパワーを
もらって帰りました。

1日目は京都府立体育
館で全体会が行われ、午
前は「憲法9条京都の会」
呼びかけ人で京都佛教会理
事長の有馬頼底さんが「い
のちの輝き、それは平和で
あればこそ」と題して講演。
「日本は平和である。日本は
平和を守る責任がある」と
強調し、いのちの大切さ、



上 全体会での県医労の参加者
下 手作りの「源氏物語」の大型パネル

「はんなり京の散歩道」

初めて見学分科会に当

選。「哲学の道」を散策中に、
土砂降りの雨に遭い霊鑑寺
で雨宿り。雨上がりのお寺
も風情があり、古都の風景
を楽しむことができまし



ひっそりとした佇まいの法然院

た。午後は聖護院門跡を訪
ね、普段見ることができない奥の方まで説明を受ける
ことができました。参加者の記念写真が送られてくる
ということ、楽しみにしています。

〇〇 〇〇

初めて参加しました



規模の大きさ、人の多さに圧倒されました。各団体
の報告や構成劇も工夫されていて
見応えがありました。分科会は「ひ
とりじゃないよ つながろう」に
参加。派遣切りされても、仲間と
もにがんばる元気な姿に、「あきら
めない」「今こそ団結してがんばろ
う」という思いを実感してしまし
た。

〇〇 〇〇

青年部第52回 定期大会開催

2年ぶり大会成立 働く環境は 自分達の手で守る



学習会講師の鈴木哲夫岩手医労連書記長

過去二年間、出席代議員数が足りず代表者会議となっていた青年部定期大会は、今年度、代議員（28名）・オブザーバー（2名）を含め17支部・本部、40名が出席し、大会成立を果たすことが出来ました。

大会開催の前に、県医労の上部団体である、岩手医師に迎え「独立行政法人とは何か」と題して学習会を行いました。鈴木書記長は国立病院の独立行政法人化の際に、組合専従として活動してこれ、現在の国立病院の現状や、県立病院が今後、独立行政法人化してしまつた時の賃金・身分雇用・労働条件などについてわかりやすく話されました。参加者からは「とても勉強になった」「自分達で働く環境を守っていくことが必要だと感じた」などの感想が寄せられました。

定期大会では各支部から



学習会に真剣に耳を傾ける代議員

しているかわからない」など、組合活動が停滞している現状の発言もありました。人員不足により業務は多忙になり、組合活動の停滞へと繋がる悪循環の中、いかに組合活動を広げ自分達の働く環境を守っていくかが、今後の課題であることを改めて認識しました。

8月22日、24日にかけて「全国アクトin山梨」が開催されました。岩手からは14名、うち県医労からは6名が参加しました。全国の青年達とおおいに交流を深めた様子は、次号で紹介します。お楽しみに!!

全国アクトの
報告は次号!



2009年度 青年部役員

○部長	○ ○ ○ ○	(大船渡)
○副部長	○ ○ ○ ○	(大船渡)
○書記長	○ ○ ○ ○	(書記局)
○委員	○ ○ ○ ○	(久慈)
	○ ○ ○ ○	(二戸)
	○ ○ ○ ○	(中野)
	○ ○ ○ ○	(遠部)
	○ ○ ○ ○	(中光)
	○ ○ ○ ○	(南石)
	○ ○ ○ ○	(釜宮)
	○ ○ ○ ○	

てびやま

8月30日の衆議院選挙、政権交代になるのか？今回の選挙はいつになく興味深い選挙になりそうです。赤勝て白勝てと言うわけには行かないが、少しでも生活が楽になればと考え、投票しようと思います。さうて9月号が出る頃は日本はどう変わっているかな。

一戸支部 越冬カメ虫

研修会はいくまで自主的な参加との事で、実際はなかなか超勤は書けません。たまに早く仕事が終わっても、研修に参加すると帰るのは夜8時すぎ…。体調管理するにも限度があります。

大船渡支部 はなちゃん

エコカー減税、岩手県と国から支給になる今がチャンスと思ひ、思ひきつて買

いました。この車、10年以上は乗ろうと思ひます。シルバーマークをつけて？…。

胆沢支部 セントアキ

今年の夏は家族で初キャンプ!! 晴れるといいナ。希望通り休みだといいナーと思ひています。

中央支部 アラフォー

寝る前に、10分程度「大の字」で寝ころんでボーっとすると、リラックス状態になってグッスリ眠れると

大船渡支部 ベガ

休みがしつかり欲しいなあ。しつかり休めるのは仕事をやめてからかな…? 仕事のない不景気なご時世、仕事があるだけいいと思ひればいいのか…。

七月号パズル 当選者発表

7月号パズル「まちがいは7つ」には30名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

7月号当選者(敬称略)
越冬カメ虫(戸支部)、
○○○○、モンキーガール、
クッキーママ(以上、中央支部)、
わさび(中部支部)、
匿名希望(江刺支部)、
○○○(南光支部)、
匿名希望(千厩支部)、
ドスコイ王子の妻、
匿名希望(以上、大船渡支部)

とんがらし

「看護の仕事が好きだけど、もう辞めたい」「休暇も取れず、非番の日も会議・研修で病院に」「患者さんの命を守る前に自分の体がもたません」「毎日毎日、その日一日働くのが精一杯。明日のことは分からない体の状態です」。アンケート用紙の自由記載欄には、何とかして！助けて！の声がビッシリ▼県医労は、この八月に「時間外労働、夜勤・交代制勤務等緊急実態調査」を実施しました。中にはこんな声も、「とにかく余裕がない。疲れる。いつ死んでもおかしくない状況です」。異常としか言いようのない県立病院の職場実態。病院というのは患者さんをケアし治療するための機関のはずです。ところが、人手不足に加え、会議・委員会・研修会などで十分なケアができず「切ない」「悲しい」と嘆く看護師▼看護師の声を拾っていて、はたと気づきました。まるで、戦前の製糸工場を舞台にした「女工哀史」。長時間労働、休暇も取れない、時間外労働の割増賃金が「ピンハネ」される、あぐく、病気になるで…。どこが違うというのでしょうか。看護師の身が削られていく。本人のみならず、患者にとっても、何もないことはないはず▼頻発する9日夜勤、5時間もの時差勤務、不払い(請求できない)時間外労働、法や規則で保証された休暇さえ満足に取れない実態。すべて、必要な人員を配置してないことの証です。ハード面には金をかけるが、ソフト面は削りに削るどこかおかしい医療局。いい加減にしろ！と言いたいのは、筆者だけでしょうか。

フレッシュセミナー

日時 10月23日～24日
開会13:30 閉会12:00

会場 ホテル森の風鶯宿

温泉で
リフレッシュ!
そして労働者の
権利を学ぼう

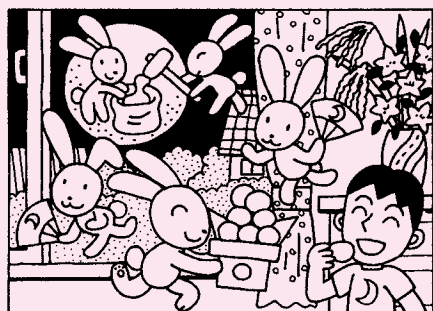


職場川柳

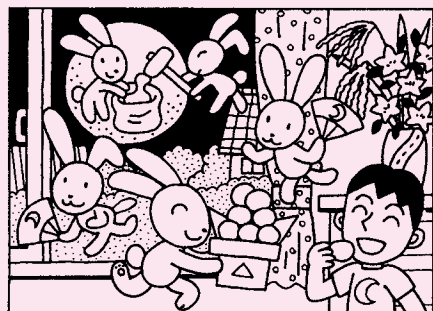
- 均霏^{さんてん}も あまねくまでも 死語になり
- 旬だもの 毎日欠かさず ナースのため (国語学者)
- 盆も過ぎ 母看る兄に 秋の風 (懲りない人)
- GMは 自転車操業 火の車 (心配性)
- 国有化 これって確か 社会主義 (レーニン)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先着10名です。020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は9月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合もありますので、匿名希望の場合には、その旨を書い

9月の予定

- 2(水)～3日(木) 日本医労連看護要求実現全国交流集会(静岡)
- 5日(土) いわて労連定期大会(国保会館)
- 8日(火) 看護部会(県民会館)
- 10日(木)～11日(金) 医労連共済全国交流集会(東京都内)
- 12日(土) 女性部バスハイク 保育所部会(県民会館)
- 16日(水) 給食問題研究会(アイーナ) 給食対策委員会(アイーナ)
- 18日(金) 支部長会議(県民会館)
- 25日(金) 書記研修会(県民会館)

10月の予定

- 1日(木) 女性部長会議
- 3日(土) 日本医労連看護講座(京都)
- 3日(土)～4日(日) はたらく女性の中央集会(神戸)
- 4日(日) いのちのふるさとシンポin盛岡 東北原水協学校(盛岡)
- 7日(水) 看護部会
- 10日(土) 岩手県社保協総会(水産会館)
- 10日(土)～11日(日) 岩手医労連壮年部集会(ホテル志戸平)
- 16日(金)～17日(土) 中央委員会&情勢学習会(渡り温泉)
- 17日(土)～18日(日) 東北地方協精神交流集会(山形)
- 22日(木) 医師増やせ!地域医療守れ!中央集会(東京)
- 23日(金)～24日(土) フレッシュセミナー(森の風) 青年部委員会
- 31日(土)～11月1日(日) いわて労連機関紙セミナー 岩手医労連青年部平和と学習ツアー